

議事録

委員会名	中央区消防団運営委員会
日時	令和4年12月20日(金)9時57分から10時32分まで
場所	東京都中央区築地1丁目1番1号 中央区役所8階 大会議室
諮問事項	大規模地震発生時における特別区消防団の消火能力を向上させる方策は いかにあるべきか
出席者	山本 泰人 (中央区長) 三田 芳裕 (日本橋防火防災協会会長) 中川 隆 (東京臨港防火防災協会会長) 齊藤 進 (中央区副区長) 石島 ひでき (都議会議員) かみや 俊宏 (区議会議員) 堀田 弥生 (区議会議員) 高橋 まきこ (区議会議員) 山本 理恵 (区議会議員) 梶谷 優香 (区議会議員) 小栗 智恵子 (区議会議員) 山田 洋一 (京橋消防署長) 大木島 実 (日本橋消防署長) 岩崎 隆浩 (臨港消防署長) 守本 利雄 (京橋消防団長) 志村 榮一 (日本橋消防団長) 村山 茂也 (臨港消防団長)
欠席者	塩島 義浩 (京橋防火防災協会会長)
傍聴者	なし
配布資料	審議資料

議事録	
事務局 防災課長	開会挨拶
委員長 区長	委員長挨拶
事務局 日本橋 警防課長	令和3年度諮問に対する最終答申（案）について説明
高橋委員	資料5ページ記載の課題「消防団員の不足、高齢化」について、本区は30、40代が最も多い世代構成であるが、消防団員の平均年齢が50.2歳であり、この乖離があるところへのアプローチが重要になるかと思うのですが、SNSの活用にあたり何を伝えていくか、考えがあれば教えてください
事務局 日本橋 警防課長	消防団員の活動内容について伝え、皆さんもボランティア精神でこの町を一緒に守りませんかといったところをアピールして入団促進を図りたいと考えております。
小栗委員	資料5ページ記載の「実践的な訓練の実施」について、本区の場合、硬い建物が多く、住んでいる方もマンション居住者が多い。このような地域特性に照らして、エンジンカッターや油圧式救助器具が示されていますが、具体的にどのような救助訓練を実施する予定であるのか教えてください。
事務局 日本橋 警防課長	震災対策がなされている耐火造の建物で倒壊が無くても、扉が歪みで開かないことも考えられます。扉を切る、また、扉の隙間に油圧式救助器具を入れて扉を開放するといった実践的な訓練に加え、地域には防火造の建物もあるため、家屋倒壊を想定し油圧式救助器具で倒れた木材を持ち上げる、エンジンカッターで切断するといった訓練を重ね、震災時の活動能力を向上させたいと考えています。
山本委員	デジタル環境の有効活用と新たな技術の導入の部分については、どのようなものを想定しているか教えてください。 先日新聞記事で、消防庁が災害現場の状況を速やかに把握できる体制を整えるためドローンを活用し、その映像を消防庁や都道府県区市町村と共有していくシステムを開発していくというものを拝見しました。タブレットの活用が非常に有効であると考えられますが、このようなことも想定されているのか確認をさせてください。
事務局 日本橋	デジタル技術の導入ですが、災害の疑似体験を可能とするVR用のゴーグルを装着して見るコンテンツなどを考えております。

警 防 課 長	<p>タブレットについては、東京消防庁震災訓練において分団毎に配置されているタブレットを活用し、現場の活動状況を団本部に送付するという訓練を実施しております。また、現在、東京消防庁では即応対処部隊という部隊に配置しているドローンから、現場の状況を消防団に提供するという体制を構築しております。消防団にはまだドローンが配置されていないため、将来的には配置を検討していきたいと考えます。</p>
委 員 長 区 長	<p>本最終答申案について決議</p>
各 委 員	<p>異議なし</p>
委 員 長 区 長	<p>委員長挨拶</p>
事 務 局 防 災 課 長	<p>閉会挨拶</p>